

授業科目 医学用語

【担当教員名】 井上 弘樹	対象学年	1	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○
【概要】 医学用語の構造と成り立ちの基本を理解する。さらに、臨床で使用される医学記録を理解するために必要な医学用語を略語を含めて習得する。医学用語の数、種類は膨大であり、限られた授業時間でその全てを網羅するのは不可能に近い。よって、より多くの語彙を習得するためには、本授業以後も学習者の継続的な学習努力が必要であることを理解する。				
【学習目標】 1. 医学記録を読む際必要となる、基本的な医学用語の意味を説明できる。 2. 医学用に造られた語を分解し、その成り立ちを概説することができる。 3. 各医学用語の用途や、一般に用いられる場面について説明することができる。 4. 医学用語の語彙を増やすための方法を考えて、実践することができる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医学用語の語源としての英語、ギリシャ語、ラテン語			
2	医学用語の構造（1）			
3	医学用語の構造（2）			
4	循環器系の医学用語			
5	呼吸器系の医学用語			
6	消化器系の医学用語			
7	泌尿器・生殖器系の医学用語			
8	内分泌系の医学用語			
9	神経系の医学用語			
10	感覚器系の医学用語			
11	骨格系の医学用語			
12	皮膚系の医学用語			
13	精神医学の用語・その他の用語			
14	感染症関係の医学用語			
15	まとめ			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ポケット医学用語集 第2版	富野康日己 編	同成社 2004・1,260円
参考書		カルテ&レセプト略語16000—傷病・検査・処置・手術・薬剤等の臨床略語全集	医学通信社	2008・2,940円
その他の資料		南山堂医学大辞典 19版	南山堂	2006・12,600円
【評価方法】 定期試験（筆記） 授業中に与えられる課題の解答内容や提出状況も、加味される。		【履修上の留意点】 教科書以外にもスライドとハンドアウトなどを適宜用いる。 本科目のような分野では、知識を正確に用いることが求められる。そのためには日々学習を積み重ねることが必須であることをよく理解した上で、受講すること。 受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については、退室を命じることがある。 シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるため、各自掲示板などをみておくこと。		